

公益社団法人 日本技術士会 北陸本部
富山県支部

2021 年度 年次大会報告書

・報告事項

1. 2020 年度事業報告
2. 2020 年度決算報告
3. 2021 年度事業計画
4. 2021 年度予算
5. 2021・2022 年度富山県支部役員
6. その他

1. 2020 年度事業報告

1.1 支部活動内容

① 地域本部における年次大会（全体会合）・役員会・委員会活動
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、年次大会は開催せず、年次大会報告書を全会員に配布することで代替した。
・支部長を含め 20 名で構成する役員による富山県支部役員会を 3 回開催した。
② 行事
・8 月 1 日に第 33 回講演会（参加者 47 名）、2 月 27 日に第 34 回講演会（参加者 128 名）を Zoom で開催した。
③その他
・2 月 4 日に富山大学において JABEE 認定コース在学生及び担当教員合計 77 名に対して技術士制度に関する説明会を開催した。
・3 月 18 日に富山県土木部、農林水産部に意見交換会に関するあいさつ回りを実施した。

1.2 支部の会合

	年次大会 (全体会合)	役員会	委員会	講演会 見学会	その他	計
回数	0	3	0	2	1	6

<支部行事>

実施日	内容	会場・参加者
5 月 13 日(水)	第 1 回役員会 (1) 2020 年度富山県支部年次大会資料について (2) 第 33 回講演会の開催について (3) 富山県庁技術士会設立に向けた進捗状況報告 (4) その他	Zoom 開催 ・参加者 17 名
7 月 6 日(月)	第 2 回役員会 (1) 北陸本部設立 50 周年記念誌広告協賛集めについて (2) 第 33 回講演会の開催について	Zoom 開催 ・参加者 8 名
8 月 1 日(土)	第 33 回講演会 ・「SSRT 条件下による MIM 焼結 チタン材の応力腐食割れ」 富山大学 都市デザイン学部 教授 砂田聡氏 ・「新しい交通システムについての一考察 ～ M a a S を題材にして～」 京都大学 経営管理大学院 (大学院工学研究科教授併任) 教授 山田忠史氏	Zoom 開催 ・参加者 47 名 (うち、一般参加者 4 名)
1 月 13 日(水)	第 3 回役員会 (1) 富山大学 JABEE 講習会について (2) 第 34 回講演会について (3) 富山県との意見交換会について (4) 青年技術士交流会について (5) その他	Zoom 開催 ・参加者 13 名

実施日	内容	会場・参加者
2月4日(木)	JABEE 制度の活用と技術士制度説明会（富山大学工学部・都市デザイン学部） (1) JABEE 制度の活用と技術士制度 富山県支部事務局 大門 健一 (2) 体験談発表 「現役技術士の活躍状況」 ① 『技術士』って役に立つ？ YKKAP（株） 荒城 昌弘氏 ② JABEE 制度活用例ー建設コンサルタントの事例ー (株) 新日本コンサルタント 前田 雄生氏	Zoom 開催 聴講者：77名 技術士会参加者：7名
2月27日(土)	第34回講演会 (1) 「現象のデザインー身の回りの自然美を活かす造景の発想と方法ー」 元富山県土木部長 埴生 雅章 氏 (2) 「民俗学の視点から土木を考える ～ 妖怪伝承にみる土木技術者の姿～」 京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 助教 中尾 聡史 氏	Zoom 開催 ・参加者 128名 (うち、一般参加者 65名)
3月18日(月)	富山県との意見交換会に関するあいさつ回り	富山県庁 参加者：佐渡支部長、市森副支部長、山中幹事、竹沢幹事、大門幹事

1.3 委員会活動

(1)総務委員会 [総務、会規、情報交流]

- ・本会の秩序・信用の維持、運営管理及び会員の顕彰に関する事項
- ・富山県支部における連絡・事務全般
- ・北陸本部との連絡調整
- ・年次大会、講演会等の準備、会場手配、運営
- ・富山県との意見交換会など
- ・ホームページの活用に関わる企画、立案及び維持管理

(2)事業委員会 [CPD 研修、見学、講演会、研修]

- ・技術士の研修及び技術系人材の育成に関する企画、実施に関する事項
- ・技術士 CPD 推進のための研鑽、講演会等諸行事の調査・企画・運営。講演会における講師及びテーマの選定、交渉
- ・所属会員による発表(CPD)
- ・事務局との連絡調整
- ・来賓の接待など

(3)業務委員会 [活用促進・業務斡旋・広報・開業支援]

- ・主に技術士会以外の組織や一般の方々に対し、技術情報の発信、指導、教育、相談などを通じて貢献し、地域経済や産業の発展に寄与する
- ・技術士制度と技術士会の PR
- ・活用促進：技術士業務の活用促進支援。業務受諾の検討、紹介。

2. 2020年度決算報告

2020年度 富山県支部 一般会計収支決算書 (2020年4月1日から2021年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	(2020年度予算)	(2020年度決算)	(増減)	補足説明
I 事業活動収支の部				
事業収入	〔 15 〕	〔 0 〕	〔 15 〕	
広告料収入	0	0	0	
参加費収入	5	0	5	
各種資料等頒布収入	10	0	10	
業務斡旋管理収入	0	0	0	
			0	
雑収入	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕	
雑収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
受取利息				
地域組織活動補助費収入	〔 397 〕	〔 225 〕	〔 172 〕	
講演会・見学会開催補助費収入	260	80	180	
地域組織活動補助費収入	137	145	-8	
その他補助費収入				
事業活動収入計 (A)	〔 412 〕	〔 225 〕	〔 187 〕	
2 事業活動支出				
(1) 事業費	〔 455 〕	〔 100 〕	〔 355 〕	
事業促進費	(0)	(0)	(0)	
事業広報費	(8)	(7)	(1)	
インターネット運用費	8	7	1	
業務啓発費		(0)	(0)	
			0	
研 鑽 費	(260)	(81)	(179)	
講演会・見学会開催補助費	260	81	179	
各種資料等作成費	(80)	(0)	80	
業務推進費	(107)	(12)	(95)	
会 議 費	30	0	30	
旅費交通費	10	0	10	
通信運搬費	10	0	10	
消耗品費	47	0	47	
印刷製本費	0	0	0	
各種会合費	0	0	0	
事務所賃借料	10	10	0	
雑費その他		2	-2	
事業活動支出計 (B)	〔 455 〕	〔 100 〕	〔 355 〕	
事業活動収支差額 (A) - (B)	〔 -43 〕	〔 125 〕	〔 -168 〕	
III 予備費支出				
(1) 予備費支出 (C)	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕	
当期収支差額 (A) - {(B)+(C)}	〔 -43 〕	〔 125 〕	〔 -168 〕	
前期繰越収支差額	〔 2523 〕	〔 2524 〕	〔 -1 〕	
次期繰越収支差額	〔 2480 〕	〔 2649 〕	〔 -169 〕	

公益社団法人日本技術士会 北陸本部 富山県支部 監査報告書

監査の期日及び場所

期日：2021年4月13日

場所：富山県富山市奥田新町1番23号 株式会社新日本コンサルタント内
公益社団法人日本技術士会 北陸本部 富山県支部 事務局

監査の対象となる期日及び書類

期日：自 2020年 4月 1日
至 2021年 3月31日

書類：関係書類及び預金通帳、現金

監査の結果

2021年3月31日現在における収支並びに残高は、関係書類、預金通帳、現金と照合し、正当と認めます。

上記のとおり報告いたします。

2021年4月13日

公益社団法人日本技術士会 北陸本部 富山県支部

会計幹事

大石 守仁



会計幹事

辻野 篤



3. 2021 年度事業計画

3.1 支部行事、事業等

実施予定	内容	会場
6月17日(木)	第1回役員会	Zoom で実施
7月31日(土)	第35回講演会	Zoom で実施
9月頃	第2回役員会	未定
10月頃	2021 とやま若手技術士交流会	未定
11月頃	第3回役員会	未定
1月頃	第36回講演会、意見交換会	未定
2月頃	富山県立大学への技術士制度と技術士会の PR	未定
2月頃	富山県との意見交換会	未定
12月～1月頃	富山大学と富山高専の技術士制度と技術士会の PR に関する合同協議	未定

3.2 関連行事

実施予定	内容	会場
6月25日(金) 26日(土)	北陸本部 年次大会	新潟、Zoom で実施
7月17日(土)	北陸本部ウェルカムミーティング (拡大青年技術士委員会議)	新潟等、Zoom で実施
未定	北東3本部講演会	(未定)
11月25～27日	技術士全国大会(創立70周年記念)	東京

3.3 委員会活動

(1) 総務委員会 [総務、会規、情報交流]

- ・ 本会の秩序・信用の維持、運営管理及び会員の顕彰に関する事項
- ・ 富山県支部における連絡・事務全般
- ・ 北陸本部との連絡調整
- ・ 年次大会、講演会等の準備、会場手配、運営
- ・ 富山県との意見交換会
- ・ 富山県内若手技術士交流の場の準備
- ・ ホームページの活用に関わる企画、立案及び維持管理
- ・ WEB 中継による講演会聴講の実施*運営 など

※WEB 中継による講演会は、会員からの開催希望により実施します。

なお、WEB 中継講演会の実施内容については統括本部、北陸本部から案内されます。

(2) 事業委員会 [CPD 研修、見学、講演会、研修]

- ・ 技術士の研修及び技術系人材の育成に関する企画、実施に関する事項
- ・ 技術士 CPD 推進のための研鑽、講演会等諸行事の調査・企画・運営。
- ・ 講演会における講師及びテーマの選定、交渉
- ・ 所属会員による発表(CPD)
- ・ 事務局との連絡調整
- ・ 来賓の接待など

(3) 業務委員会 [活用促進・業務斡旋・広報・開業支援]

- ・ 主に技術士会以外の組織や一般の方々に対し、技術情報の発信、指導、教育、相談などを通じて貢献し、地域経済や産業の発展に寄与する
- ・ 技術士制度と技術士会の PR
- ・ 活用促進：技術士業務の活用促進支援。業務受諾の検討、紹介。

4. 2021年度予算

2021年度 富山県支部 一般会計収支予算書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	(2021年度予算)	(2020年度予算)	(2020年度決算)	補足説明
I 事業活動収支の部				
事業収入	[15]	[15]	[0]	
広告料収入	0	0	0	
参加費収入	5	5	0	
各種資料等頒布収入	10	10	0	
業務幹旋管理収入	0	0	0	
雑収入	[0]	[0]	[0]	
雑収入	0	0	0	
寄付金収入	0	0	0	
受取利息				
地域組織活動補助費収入	[415]	[397]	[225]	
講演会・見学会開催補助費収入	270	260	80	
地域組織活動補助費収入	145	137	145	
その他補助費収入				
事業活動収入計 (A)	[430]	[412]	[225]	
2 事業活動支出				
(1) 事業費	[455]	[455]	[100]	
事業促進費	(0)	(0)	(0)	
事業広報費	(8)	(8)	(7)	
インターネット運用費	8	8	7	
業務啓発費			(0)	
研 鑽 費	(260)	(260)	(81)	
講演会・見学会開催補助費	260	260	81	
各種資料等作成費	(80)	(80)	(0)	
業務推進費	(107)	(107)	(12)	
会 議 費	30	30	0	
旅費交通費	10	10	0	
通信運搬費	10	10	0	
消 耗 品 費	47	47	0	
印刷製本費	0	0	0	
各種会合費	0	0	0	
事務所賃借料	10	10	10	
雑費その他			2	
事業活動支出計 (B)	[455]	[455]	[100]	
事業活動収支差額 (A) - (B)	[-25]	[-43]	[125]	
III 予備費支出				
(1) 予備費支出 (C)	[0]	[0]	[0]	
当期収支差額 (A) - {(B)+(C)}	[-25]	[-43]	[125]	
前期繰越収支差額	[2523]	[2523]	[2524]	
次期繰越収支差額	[2498]	[2480]	[2649]	

■ 2021・2022年度富山県支部役員

氏名	部門	支部役員	委員等	勤務先
佐渡 正	建設	支部長		佐渡技術士事務所
吉岡 茂喜	金属・総監	副支部長	事業委員長	吉岡技術士事務所
有澤 良一	建設	副支部長	業務委員	(株)宏和
市森 友明	建設・総監	副支部長	総務委員長、 事務局長	(株)新日本コンサルタント
田知 清英	応用理学・総監	幹事	業務委員長	ヤマト地質調査(株)
大石 守仁	建設	幹事	会計監事	(株)寺島コンサルタント
櫻井 幹郎	建設	幹事	事業委員	北陸基礎開発(株)
古村 崇	建設・総監	幹事	業務委員	(株)フルテック
梶川 明美	情報工学・総監	幹事	事業委員	梶川技術士事務所
広田 史子	森林	幹事	業務委員	広田技術士事務所
竹沢 良治	農業・総監	幹事	事業委員	富山県土地改良事業団体連合会
山本 尚三	金属・総監	幹事	業務委員	山本金属表面技術士事務所
天坂 豊治	建設	幹事	事業委員	(株)新日本コンサルタント
山中 久生	建設	幹事	事業委員	富山県庁
橋本 徹	建設・総監	幹事	業務委員	北電技術コンサルタント(株)
藤本 一行	建設	幹事	総務委員	丸新志鷹建設(株)
二口 忠	衛生工学	幹事	総務委員	(株)中部設計
大門 健一	建設・総監	幹事	総務委員	(株)新日本コンサルタント

公益社団法人 日本技術士会北陸本部富山県支部

2020年度 活動報告

The Institution of Professional Engineers, Japan, Toyama

1. 第33回講演会



- 開催日 : 2020年8月1日
- zoom開催
- 参加者数: 47名





公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan
北陸本部 富山県支部

第33回 ZOOM (オンライン) 講演会

公益社団法人日本技術士会では、「行動する日本技術士会」として多様な技術を活かして、広く社会への貢献活動を推進しております。地域と技術士並びに日本技術士会富山県支部が連携して行動することによって、社会への貢献の輪がより一層広がることを目指しております。
富山県支部では、毎年2回の講演会や技術士制度の説明、各種セミナーを開催し、地域活性化に寄与する技術の発信、技術研鑽を行っております。
第33回講演会は、新型コロナウイルス感染防止のため、ZOOMによるオンライン講演会を開催いたします。参加条件は、PC、タブレット、スマホのいずれかで ZOOM 受講が可能な方です。

日時	2020年8月1日(土) 15:00~17:00	場所	ZOOM (オンライン) 開催 ※参加費無料
-----------	-----------------------------	-----------	------------------------------

申込 下記より参加申し込みをお願いいたします。
お申し込み後、視聴方法についてメールでご案内いたします。
お申込み先 : <https://forms.gle/8j1Xco68p4wfa89>



【プログラム】

15:00 ~ オンライン講演会についてご案内
15:05 ~ 開会挨拶 (富山県支部長)

講演 1 15:10- **SSRT 条件下による MIM 焼結 チタン材の応力腐食割れ**
富山大学 都市デザイン学部 教授 砂田 聡 氏

講演 2 16:05- **新しい交通システムについての一考察
~ MaaSを題材にして~**
京都大学 経営管理大学院 教授 山田 忠史 氏
(大学院工学研究科教授併任)

16:55 ~ 閉会挨拶

<主催> 公益社団法人日本技術士会 北陸本部 富山県支部
〒930-0857 富山市奥田新町1番23号 富山日本コンサルタント内
TEL: 076-464-6520 FAX: 076-464-6671
URL: <http://petoyama.net> E-mail: gfjtsushih@shinshon-cst.co.jp

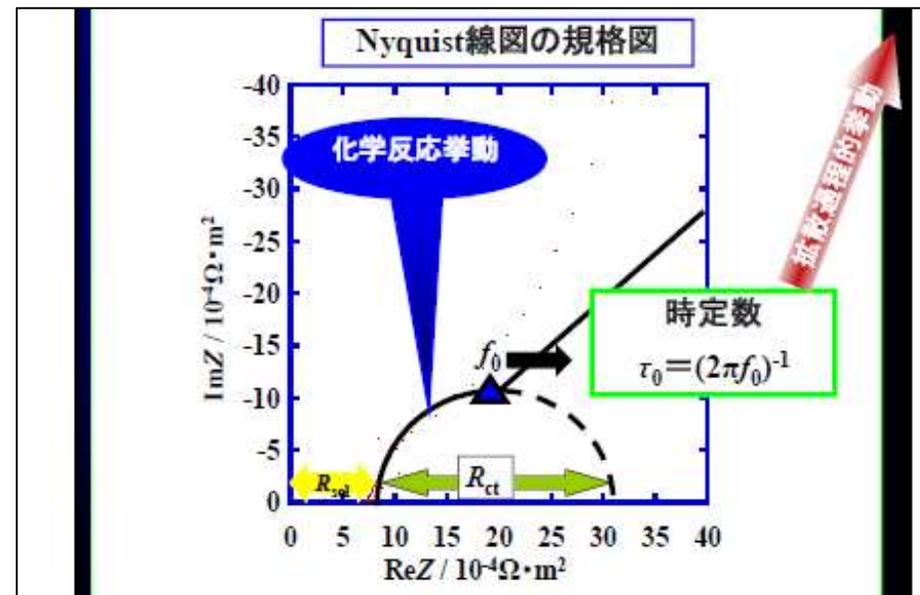
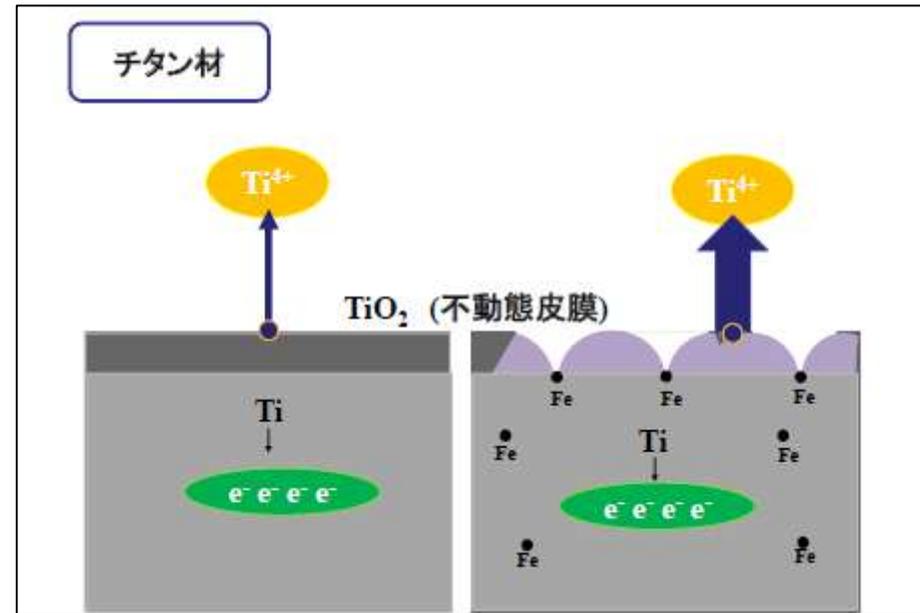
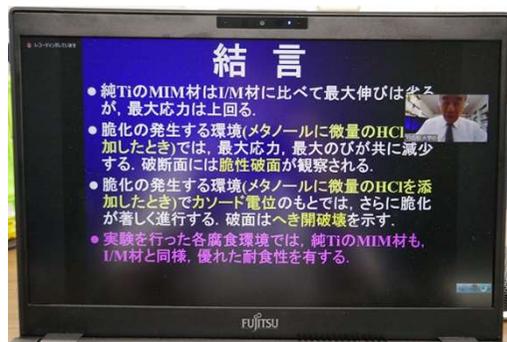
1. 第33回講演会



講演1

「SSRT 条件下によるMIM 焼結 チタン材の応力腐食割れ」 富山大学 都市デザイン学部 教授 砂田 聡 氏

複雑形状品の製造に適した射出成形法（MIM法）によるチタン材の有用技術が注目されている中、腐食特性を明らかにするために実施されたSSRT試験データ等の説明を中心に、チタンのMIM材についての配慮すべき事項などについてお話をいただいた。



1. 第33回講演会

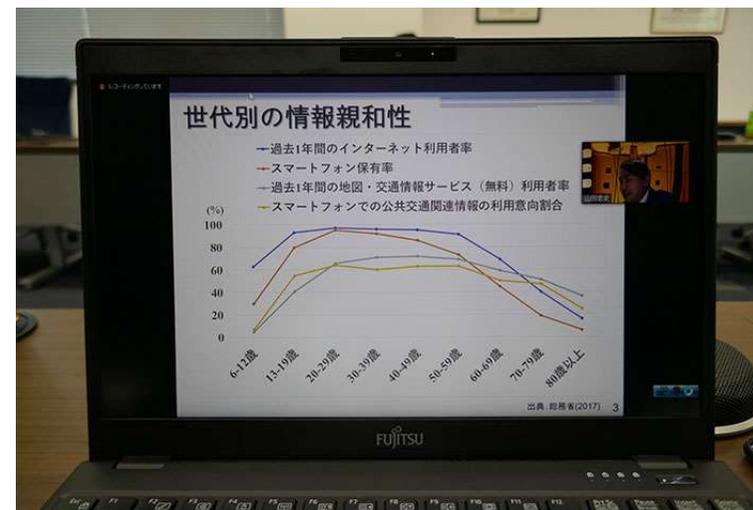


講演2

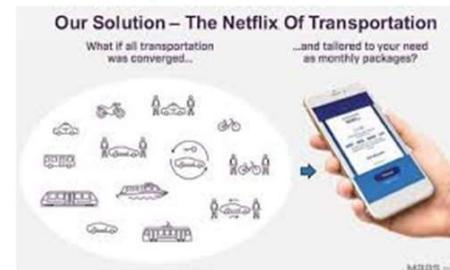
「新しい交通システムについて
の一考察 ～ MaaSを題材に
して～」

京都大学経営管理大学院
(大学院工学研究科教授兼任)
教授 山田忠史氏

デジタルトランスフォーメーションの潮流の中で、ビジネスモデルが変化していること、この潮流の中での交通システム、MaaSの方向性について説明をいただき、今後の交通システムの課題についてお話をいただいた。



MaaS (Mobility as a Service: マース)



- ▶ 多様な移動サービスがパッケージで提供されて、経路探索、予約、料金決済が、パーソナルデバイス (スマホ) 上で完結する交通システム
- ▶ 時流: シェアリング, カスタマイズ, パーソナル
- ▶ 技術: 「IoT → ビッグデータ → AI」

1. 第33回講演会



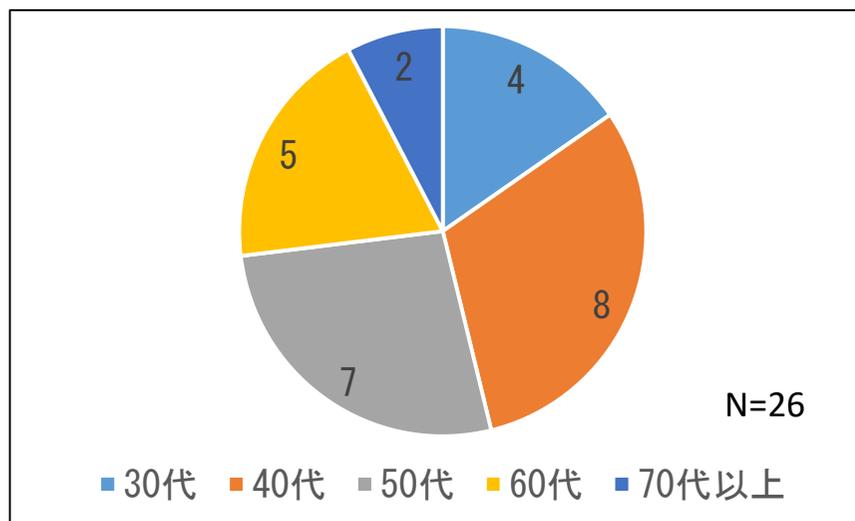
講演会の総括

初めてのzoom開催ということもあり、基本的に会員のみにも広報したので、参加者数は減ったものの、40代以下の参加が半数と通常の講演会より若い世代の参加が見られた。

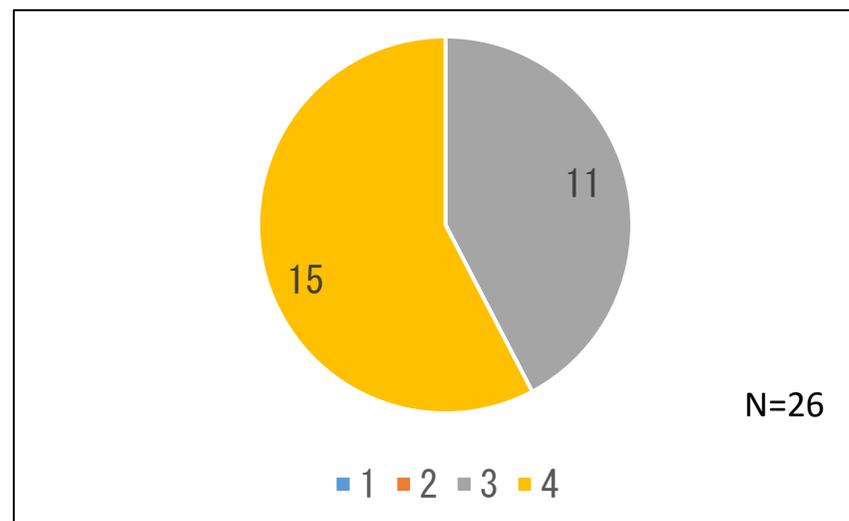
満足度は高いものであった。

【主な評価コメント】

- ・オンラインで説明スライドが見やすかった。
- ・コロナ終結後もリモート講演会形式を選択することで遠方からの参加が可能な形態をとっていただけると幸いです。
- ・双方向の部分を、改良ができればよい。



講演会参加の年齢層



講演会の満足度
(※「4」が最も高い)

2. JABEE制度の活用と技術士制度説明会

- 開催日 : 2020年2月4日
- zoom開催
- 参加者数: 77名



J A B E E の活用と技術士制度説明会

2021年 2月 4日 (木) 14:45~16:15
主催: 公益社団法人日本技術士会北陸本部
富山県支部

[議 事 次 第]

司会 富山県支部副支部長 市 森 友 明

1. 学科長あいさつ (5分)
学科長 小 野 英 樹 教 授
2. 日本技術士会あいさつ (5分)
支部長 佐 渡 正
(日本技術士会北陸本部富山県支部長)
3. JABEE 制度の活用と技術士制度 (10分)
幹事 大 門 健 一
(富山県支部事務局)
(株式会社新日本コンサルタント)
4. 体験談発表「現役技術士の活躍状況」(各20分、質疑応答10分)
①『技術士』って役に立つ?
YKK AP (株) 荒城 昌弘 (金属部門)
② JABEE制度活用例 -建設コンサルタントの事例-
(株)新日本コンサルタント 前田 雄生 (上下水道部門)
5. 質疑応答 (アンケート回答含めて 10 分)

2. JABEE制度の活用と技術士制度説明会

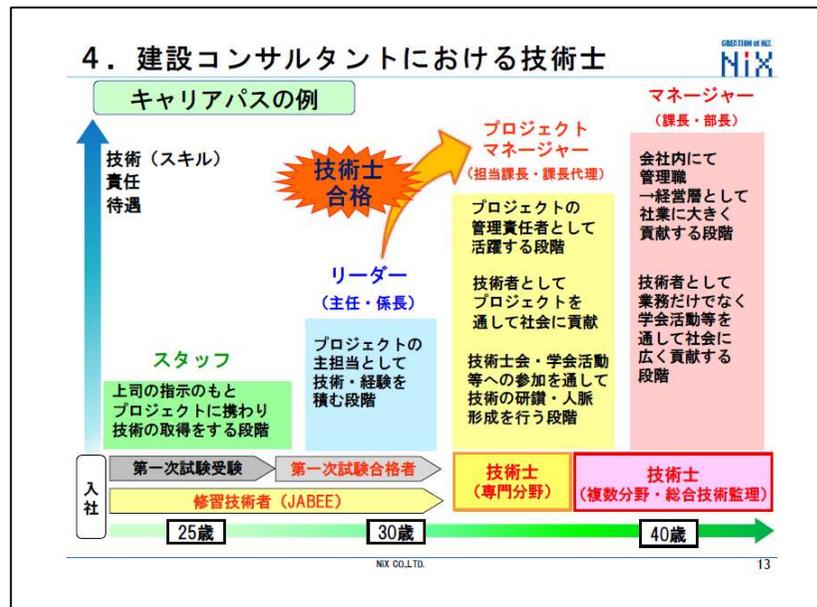
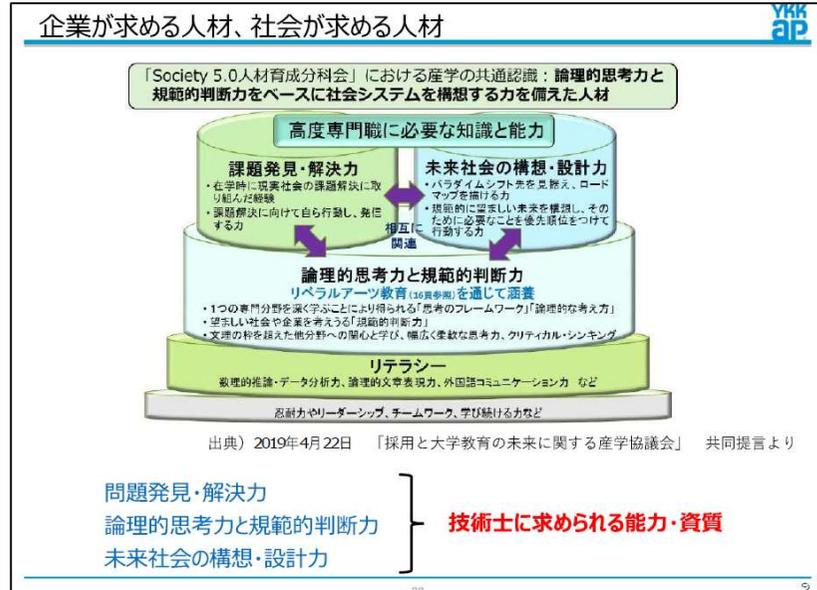


現役技術士の活躍状況

- 『技術士』って役に立つ？

YKK AP(株) 荒城昌弘氏

- JABEE制度の活用例-建設コンサルタントの事例-
(株)新日本コンサルタント 前田雄生氏



2. JABEE制度の活用と技術士制度説明会



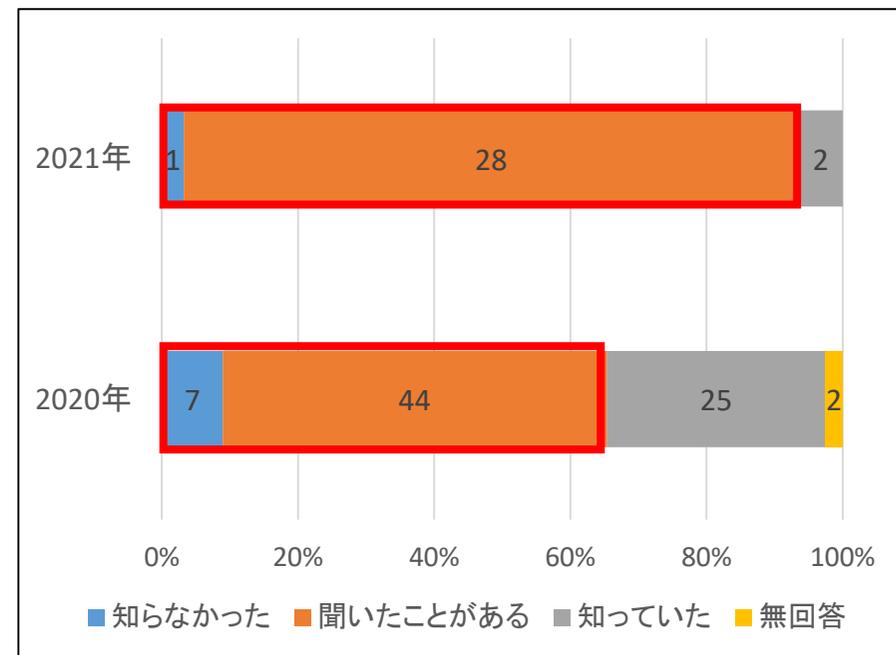
参加者の状況

都市デザイン学部材料機能工学科の授業の一コマを活用し、開催したが、今回も、都市・交通デザイン学科の生徒にも呼び掛けいただき、参加し、建設系の技術者を目指す学生が参加していた。

※授業のWEBシステム活用の関係上、以下のアンケートは材料機能工学科の学生のみアンケート実施結果である。

技術士の認知状況

技術士制度についての認知度は、「聞いたことがある」程度にとどまっており、認知度を上げることが必要な状況であった。



技術士の認知状況

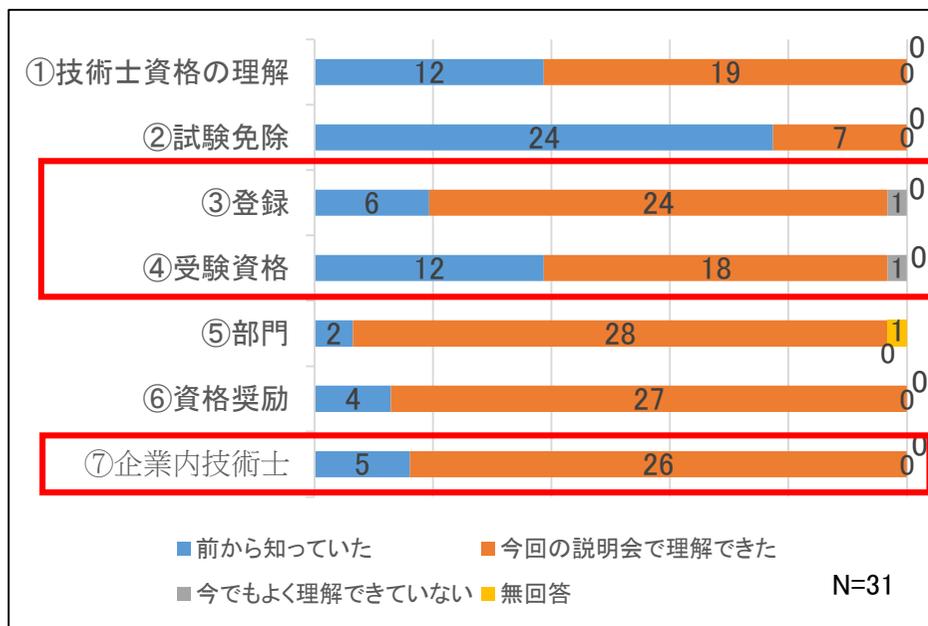
2. JABEE制度の活用と技術士制度説明会



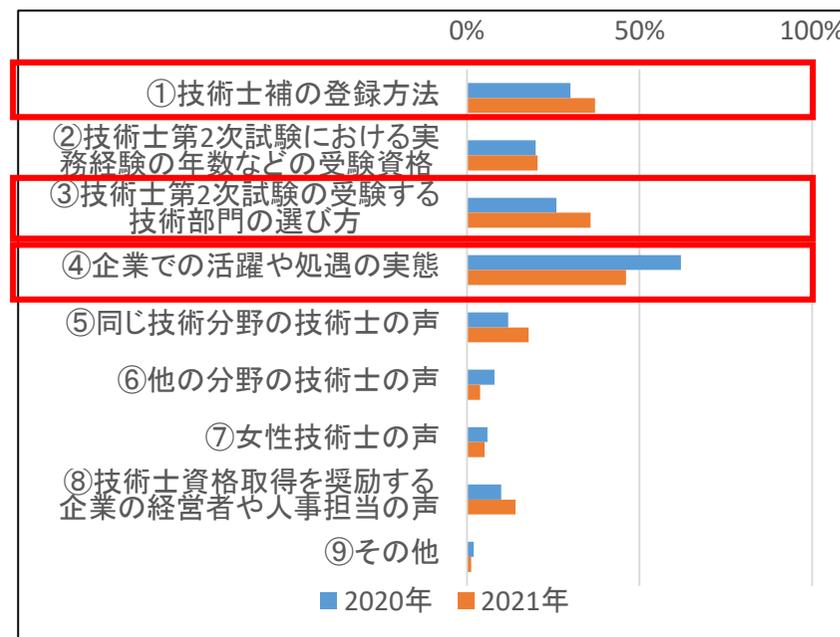
説明会の成果

技術士制度等について聞きたい情報としては、企業での活躍や処遇の実態、受験に関する情報であり、今回の説明会である程度理解は得られたと考える。

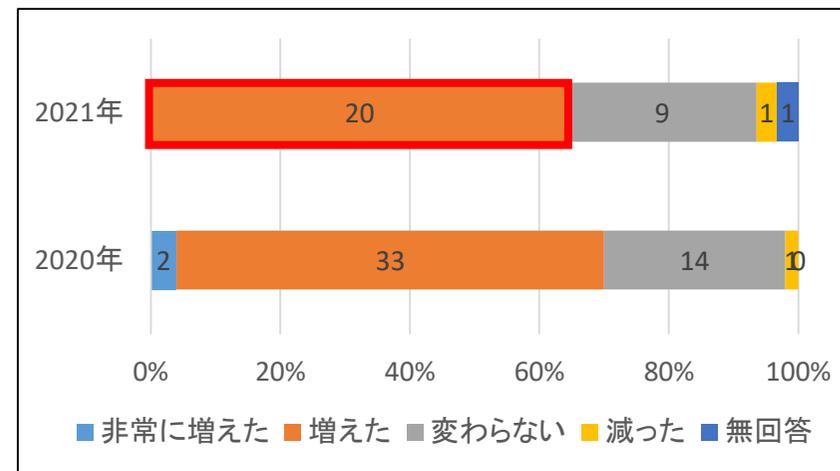
技術士を目指す意欲が増えたということからも成果が伺える。



講義の理解度



参加者の聞きたい情報



技術士を目指す意欲の変化

3. 第34回講演会



- 開催日 : 2021年2月27日
- zoomウェビナー開催
- 参加者数: 128名



第34回 ZOOM (オンライン) 講演会

公益社団法人 日本技術士会
The Institution of Professional Engineers, Japan
北陸本部富山県支部

公益社団法人日本技術士会では、“行動する日本技術士会”として多様な技術を活かして、広く社会への貢献活動を推進しております。地域と技術士並びに日本技術士会富山県支部が連携して行動することによって、社会への貢献の輪がより一層広がることを目指しております。
富山県支部では、毎年2回の講演会や技術士制度の説明、各種セミナーを開催し、地域活性化に寄与する技術の発信、技術研鑽を行っております。
第34回講演会は、新型コロナウイルス感染防止のため、ZOOMによるオンライン講演会を開催いたします。
参加条件は、PC、タブレット、スマホのいずれかで ZOOM 受講可能な方です。

日時 2021年2月27日(土)
15:00~17:00

場所 ZOOM (オンライン)
※参加費無料

CPD 2.0 単位

【プログラム】
15:00 ~ オンライン講演会についてご案内
15:03 ~ 開会挨拶 (富山県支部長)

講演 1 現象のデザイン
15:05~
— 身の回りの自然美を活かす造景の発想と方法 —
元富山県土木部長 (農学博士、日本造園学会会員) 埴生 雅章 氏

現代の庭(場)づくりと自然との新しい結びつきを求めて、身の回りの自然美(現象)を活かす発想・手法について述べる。まず、公園づくりにおける自然美を活かす事業や、身近な自然の探索で発見した自然美出現の原理についてふれ、近年試みた現象を活かす造景の制作について紹介する。また、現代アートや土木・建築・造園などの場面で、現象を活かす場づくりの観点から注目される事例について解説する。

講演 2 民俗学の視点から土木を考える
16:05~
～ 妖怪伝承にみる土木技術者の姿 ～
京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 助教 中尾 聡史 氏

日本の歴史上、土木工事の計画者や出資者については、その功績が讃えられてきた一方で、現場で汗を流した土木技術者について語られることは極めて少ない。そこで、名もなき土木技術者の歴史を民俗学の視点から考え、妖怪伝承の中に描かれてきた土木技術者の姿に迫ることとした。また、それを通じて、土木の近現代史を内省する。

16:55 ~ 閉会挨拶

申込 下記より参加申し込みをお願いいたします。
お申し込み後、視聴方法についてメールでご案内いたします。
お申込み先: <https://forms.gle/6ZyaCkz3dq9Ym24J9>



<主催>
公益社団法人日本技術士会 北陸本部 富山県支部
〒930-0857 富山県田舎町1番23号
新日本コンサルタンツ内
TEL: 076-464-6520 FAX: 076-464-6671
URL: <http://petoyama.net>
E-mail: giutsushih@shinimhon-ost.co.jp

3. 第34回講演会



講演1

「現象のデザインー身の回りの自然美を活かす造景の発想と方法ー」

元富山県土木部長

埴生 雅章氏

身の回りの自然美を活かすという発想から、現代の庭を考案するにあたり、自然と疎遠になりがちな暮らしに、自然を取り戻し、環境や心をより豊かにすることなどについてお話をいただいた。



3. 第34回講演会



講演2

「民俗学の視点から土木を考える ～妖怪伝承にみる土木技術者の姿～」 京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻 助教 中尾 聡史氏

土木改名論の変遷や土木と鬼伝説の関係、土木に対するケガレ意識などの考察から土木に対する否定的な意識の要因について見解をお話をいただいた。

土木を巡る世相(土木改名論の変遷)

1987年「土木改名論を考える」研究討論会

学者:「土木という言葉に対する一般のイメージが悪いこと」「イメージの悪さから優秀な若者がこの分野に進学しないこと」

建設業界:「土木作業員という言葉にまつわる印象や利権がらみの体質をマスコミで採り上げることから、現場の仕事においても土木のイメージの悪さに困惑しており、ヘルメットをかぶっているところに合わせた母親が「勉強しないとあんな風になるのよ」と子供にさとしていた」

「現場服を着て現場に立っている私のそばを、小さな子どもを連れてお母さんが通りかかって、「勉強しないとあんな風になるのよ」と言っているんですよ。本当に、(中略)現場服を着て現場に立っていると、そういうことは時々あるんだという話は先輩方からも聞いていましたが、自分自身がそれを経験するとはまさか思っていました。」

藤井聡(2014)『築土構木の思想』、大石久和の発言



民話にみる土木作業員

児童文学作家の松谷みよ子が、1974年に岸和田市の久米田池で以下のような民話を地元の住民から聞き取っている。

「行基は久米田池を掘るにあたって、摂津の屋陽池から持ってきた人形に息を吹きかけた。するとたちまち人形は人間になり、池の遺害に大きな働きをした。その人形は土で作った。といわれていて、筋骨が一本足りないといわれている。」

そして、聞き取りを行った際の話として、次のようなエピソードを紹介している。

「土の人形を作ったというのは、つまりその、人手不足だったんですかと愚かな質問をした。するとその人は、……其の時私は携帯用のテープレコーダーをまわしながら聞いていたのだが、突然、そのテープを止めてください、といった。そして、声をひそめていったのである。いや、いまも、土の人形の子孫がひとかたまり、住んでいます、と、私は呆然として、その人が目で指すあたりを眺め、もう一度その人を見つめ、そして、驚に打たれたようにその言葉の意味を悟った。それは差別ではありませんか、今、この時代になってもそういうふうに分けてかかるなんて、……いや、そんなことはありませんよ。今はまったくそんなことはありません。じゃあ、結婚についてもそのようなことはない。いやそれは……。」

土木事業に土人形が関わったという民話が語り継がれる中で、土人形の子孫と呼ばれ一種の差別を受けてきた人びとが堤防の下に暮らしていた……

「土木に対するケガレ意識」の考察

「ケガレ」とは、「人間と自然のそれなりに均衡のとれた状態に欠損が生じたり、均衡が崩れたりしたとき、それによって人間社会の内部におこる畏れ、不安と結びついたもの」

- 例えば、人の死は人間と自然の均衡に欠損を生じさせるため、**死穢**と呼ばれ、穢とされた。
- 死だけでなく、「**巨石や巨木を動かし、自然に大きな人為的変更を加えること**」や「**大地に変化を加えること**」もまた、「ケガレ」と同様に捉えられていた
- 「ケガレ」に対する**神の怒り**は穢れを発生させた**当事者の死**や**天災**などの形をとって神罰として表出する
- 牛馬の死骸処理も、大地に変更を加える土木作業も、「ケガレ」に関わることであり、どちらも河原者の仕事であった

自然に大きな人為的変更を加える土木行為もまた、人間と自然の均衡を乱すために「ケガレ」を生み、神の怒りを招くものであるから、それを鎮めることのできる呪術を持った河原者が土木に携わっていた

藤井聡著『日本の鬼伝承とよみなみ(注)』(注)中尾聡史編、2015

3. 第34回講演会



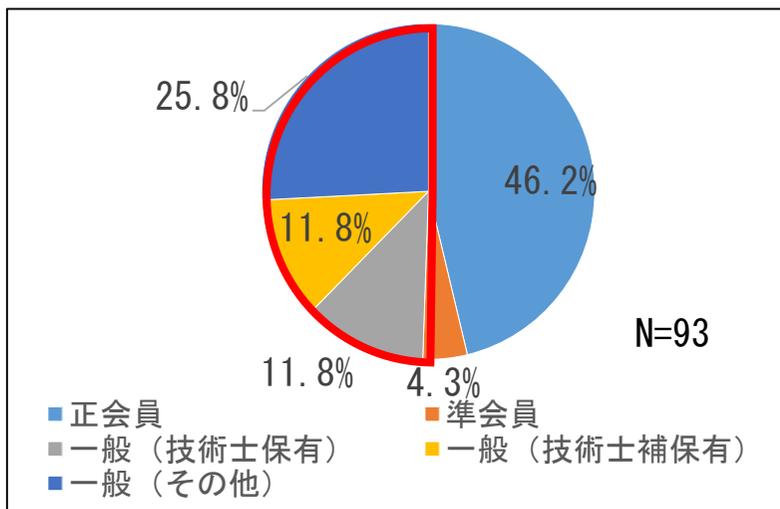
講演会の総括

今回は非常に多数の参加が見られた。一般参加が多く、半数近くを占めた。zoomの特性もあり、遠方からの参加も見られた。

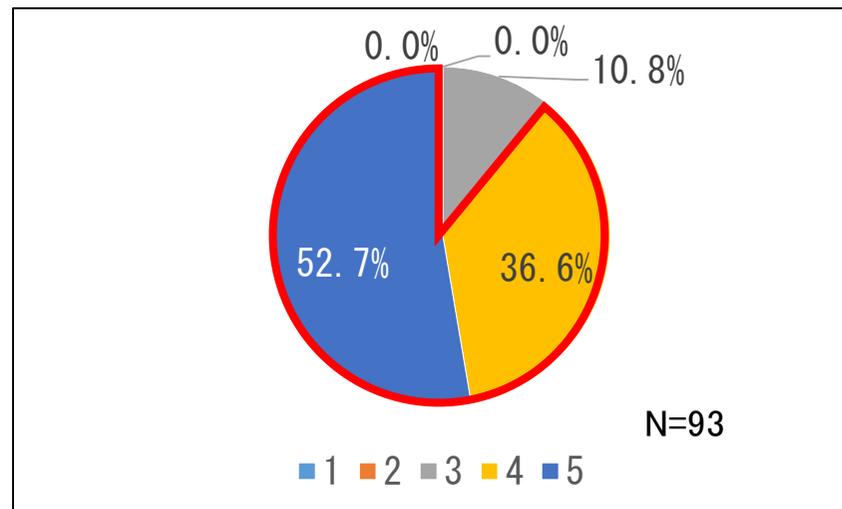
満足度は高いものであった。

【主な評価コメント】

- ・ 技術一辺倒ではなく（もちろん技術的な議論も大事ですが）、このように多面的な話を聞けるのは良いことだなと思いました。
- ・ オンライン方式では遠方でも参加できるので、コロナ禍が終息しても継続してほしいです。



講演会参加の属性



講演会の満足度
(※「5」が最も高い)